※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	情報ⅠNext　（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

　コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機器に対して、理解を深め、最適な使い方は何かを考えましょう。また、コンピュータやネットワークを通じたコミュニケーションのあり方について、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

２　学習の到達目標

・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について、理解を深めるとともに技能を習得する。
・問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深め、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための技術を身につけている。 ・情報化の進展する社会の中で、社会と人間の関係性について理解している。	・問題の発見・解決に活用に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。 ・問題を情報との結びつきを考え、表現することができる。	情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会の問題解決	・情報、メディアの特性 ・問題解決の考え方 ・法の重要性と意義 ・情報社会と情報セキュリティ ・情報技術の発展による生活・社会の変化	a： ・情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ・情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。 b： ・情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えている。 c： ・情報と社会における問題解決を関連付けて考えようとするとともに、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し、改善しようとしている。	ワークシート ファイル レポート	ワークシート ファイル ディベート 発表 レポート	授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	コミュニケーションと情報デザイン	・メディアとコミュニケーション ・情報のデジタル化 ・情報デザイン	a: ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について理解すること。 ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けている。 b: ・メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え，それらを目的や状況に応じて適切に選択している。 ・コミュニケーションの目的を明確にして，適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善している。 c: ・コミュニケーションと情報デザインについて、情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養おうとしている。 ・自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し、改善しようとしている。	ワークシート ファイル レポート	ワークシート ファイル ディベート 発表 レポート パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	コンピュータとプログラミング	・コンピュータのしくみ ・アルゴリズムとプログラミング ・モデル化とシミュレーション	a: ・コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関して理解している。 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けている。 ・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法，シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している。 b: ・コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。 ・目的に応じたアルゴリズムを考え、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用している。 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに，その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている。 c: ・コンピュータのしくみやプログラミングについて考えようとするとともに、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し、改善しようとしている。	ワークシート ファイル レポート	ワークシート ファイル ディベート 発表 レポート パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	情報通信ネットワークとデータの活用	・情報通信ネットワークのしくみ ・情報システムとデータベース ・データの活用	a: ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 ・データを蓄積。管理、提供する方法, 情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解している。 ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し、技能を身に付けている。 b: ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えている。 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えている。 ・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善している。 c: ・情報通信ネットワークとデータの活用について考えようとするとともに、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し、改善しようとしている。	ワークシート ファイル レポート	ワークシート ファイル ディベート 発表 レポート パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度